教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京科学大学拠点連携校共通
教育プログラム・コース名	連携7校共通：CAR-T療法・ICIに特化した専門薬剤師養成コース（インテンシブ）
対象職種・分野	薬剤師
修業年限（期間）	１年
養成すべき人材像	①がん薬物療法の中でも製剤の管理や調製、さらには副作用対策において特異的な知識や技術が要求されるCAR-T療法や免疫チェックポイント阻害薬(ICI)について、最新の知見を踏まえたpharmaceutical careを実践できる薬剤師 ②CAR-T療法・ICIに特化した職種間連携体制を構築でき、チーム医療が実践できる薬剤師 ③職種横断的な部門の構成員として、CAR-T療法・ICI療法を俯瞰しマネジメントを行うことができる薬剤師
修了要件・履修方法	規定の12の講義および実習を履修し、試験に合格すること。
履修科目等	・CAR-T療法・ICIに特化した12の講義（がん免疫、細胞・免疫療法、治療の実際、有害事象の管理、新規薬剤開発など） ・演習・実習では他のWGのCAR-T療法、ICIの実習にも参加し、多職種連携について学び、習得する。
がんに関する専門資格との連携	日本医療薬学会に対し「がんに関する講習会・教育セミナー」に認定されるよう申請し、がん専門薬剤師単位認定に必要なクレジット発行の資格を得る予定。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	CAR-T療法およびICIは限られた医療機関で実施されている治療法であるため、薬剤師WGメンバーが所属する大学病院の本治療法に精通している医師、薬剤師、看護師が主たる講師を務める。そのため本コースを受講する薬剤師は、がん領域における高度な臨床知識を有し、極めて専門性の高い領域での薬物療法に精通した人材を目指して養成される。実習・演習においては医師、看護師など多職種との連携を現場で学び、習得するため、知識だけでなくチーム医療を実践できる薬剤師を養成できる。さらに本コースを修了した薬剤師が、CAR-T療法・ICIの適正使用情報を普及させるため臨床現場で後進の指導を行い、入院・導入から外来加療・フォローアップまでのシームレスな薬物療法を担える薬剤師がさらに養成される指導体制の構築が期待できる。
指導体制	連携校全体およびその附属病院・関連病院の細胞療法、がん免疫、再生医療分野に精通した医学・薬学の基礎系および臨床系の専門家が直接の指導を行う。実習・演習では診療現場でこれらの治療に携わる医師、看護師等が指導にあたる。
修了者の進路・キャリアパス	がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師などの専門資格を取得し、大学病院、地域の中核病院、がん拠点病院にて多職種と連携して、CAR-T療法やICIを受ける患者に最適なケアが提供できる専門の薬剤師。 大学やがんプロのコースにおいて後進の指導を行う教員職。
受入開始時期	令和６年４月

受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	10	10	10	10	10	50

受入目標人数設定の考え方・根拠	連携7校およびその附属病院の薬剤師の事前調査により10名以上の受講者が想定されるため、受入れ目標人数を年10名と設定した。

履修者数 ※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	21					21